

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太

- ABCDEFGHIJKabcdefghijk10123456789,.!?*
- ABCDEFGHIJKLabcdefghijk0123456789,.!?*

36Q / 48H

或曇った冬の日暮である。

私は横須賀発上り二等客

車の隅に腰を下して、ぼ

んやり発車の笛を待つて

22Q / 30H

或曇った冬の日暮である。私

は横須賀発上り二等客車の隅

に腰を下して、ぼんやり発車

の笛を待つていた。とうに電

燈のついた客車の中には、珍

らしく私の外に一人も乗客は

いなかった。外を覗くと、う

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発

上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんや

り発車の笛を待つていた。とうに電燈の

ついた客車の中には、珍らしく私の外に

一人も乗客はいなかった。外を覗くと、

うす暗いプラットフォームにも、今日は

珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそ

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つていた。と

20Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れら

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、